

RNA-seq用抽出依頼用サンプルのご用意について

RNA-seq解析用の組織および培養細胞のサンプルの調製についてご案内いたします。

サンプルフォームの入力

サンプルフォーム (Excelファイル) に必要事項を記入し、メールにてご送付ください。

- サンプルフォーム記載のサンプル名と、サンプルチューブ記載のサンプル名は必ず一致させてください。
- サンプル名は下記のルールに沿ってご記載ください。
 - 混同しにくい、単純かつ固有のもの
 - 15文字以内
 - スペースは不可
 - サンプル名の先頭は数字不可
 - 記号は_(アンダーバー)のみ使用可
- メールは、弊社担当 (研究開発部・営業部) あるいは下記アドレスまでお送りください。
customer-service@rhelixa.com

組織または培養細胞の調製方法

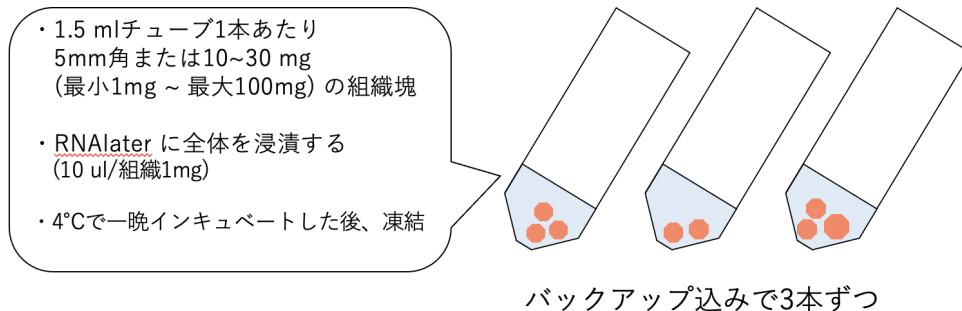
<サンプルのご注意事項>

- **動物組織・培養細胞は感染(人獣共通感染症を含む)の危険性のあるもの、及びこれらの感染実験に使用したサンプルは必ず事前にお問い合わせください。**
-
- サンプルは実験動物組織及び培養細胞となります。環境サンプルおよび一部の組織(硬い組織等)はRNA抽出ができない可能性がございますので、必ず事前にお問い合わせください。
- 特殊なサンプルにおいては料金・納期・要件が異なる場合がございます。これらの抽出作業における条件検討はお受けしておりません。
- 組織は、RNA 安定化試薬RNAlater RNA Stabilization Reagent(QIAGEN)もしくはこれに準じた安定化試薬に浸漬した状態でご送付ください。培養細胞については、安定化試薬の添加は不要ですので、ご注意ください。詳細な手順は以下をご覧ください。

<組織の調製方法>

1. 採取する組織の重量を計測し、RNAlater の使用量を算出して下さい。
 - 必要な組織量の目安は下記「3. サンプル量」を参考にして下さい。
 - 組織の重量は、組織を入れる前後のチューブの重さを電子天秤で測り、組織の推定重量を測定してください。
 - **組織1 mgにつき10 µL のRNAlater で浸漬してください。**
2. 別紙のサンプルシートの項目は必ずご記載をお願いします。空白の項目は実験の前にお伺いさせていただく場合がございます。
 - サンプル名は輸送中に消えたりしないようにキャップと側面の二箇所に記載するなどの工夫を行ってください。
3. **サンプル量**
組織検体は1.5 mlチューブ1本あたり5mm角、または10-30mg (最小1 mg~最大100 mg) となるように採取し、適切な量のRNAlater に浸漬してください。上記の量は一般的な組織における目安であり、必ずしも収量を保証するものではありません。抽出されるRNA量が少ないと想定される場合は必ず事前にご相談ください。

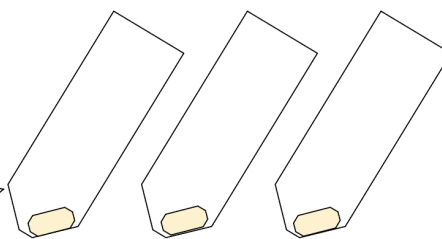
- 組織によってはRNA抽出ができない場合がございますので、対象とする組織名をあらかじめご連絡ください。
 - サンプルはRNAseqに適用可能なクオリティ、濃度および総量を抽出する必要がありますので、バックアップとして同量のサンプルを3本ずつご用意いただいております。3本ずつのご用意が難しい場合は、あらかじめご相談ください。
 - 組織重量の推定は、組織を入れる前後のチューブの重さを電子天秤で測り、その差から推定してください。RNAlaterを添加する前の組織はRNA分解の恐れがあるので、速やかに測定を行ってください。
 - 抽出後できる限り迅速に適量のRNAlaterに浸漬してください。組織はRNAlaterに完全に沈めてください。
 - 組織が大きすぎるとRNAlaterの浸透が遅くなり、RNAが分解するおそれがあります。また小さすぎると弊社での組織の回収が困難になります。
 - 組織名・組織重量・RNAlater量は必ずサンプルフォームに入力してください。
4. **RNAlaterに浸漬した組織を4°Cで一晩インキュベートした後、-80°Cで凍結していただき弊社までご送付ください。*** RNAlaterの使用方法についてはメーカーのマニュアルをよくお読み下さい。



<細胞の調製方法>

1. 細胞はRNAlaterには浸漬させず、ペレットの状態ですぐ凍結してお送りください。
2. 細胞数は**6.0×10⁵ ~ 6.0×10⁶ cells/tube**としてください。
3. ペレットにする際、培地はきれいに取り除いてください。培地の残余が激しい場合、抽出のクオリティや収量に影響が出ることがあります。
4. 別紙のサンプルシートの項目は必ずご記載をお願いします。空白の項目は実験の前にお伺いさせていただく場合がございます。
 - サンプル名は輸送中に消えたりしないようにキャップと側面の二箇所に記載するなどの工夫を行なってください。
5. サンプルはRNAseqに適用可能なクオリティ、濃度および総量を抽出する必要がありますので、バックアップとして同量のサンプルを3本ずつご用意いただいております。3本ずつのご用意が難しい場合は、あらかじめご相談ください。
 - 細胞種名・細胞数は必ずサンプルフォームに入力してください。

- ・ $6.0 \times 10^5 \sim 6.0 \times 10^6$ cells/tube
- ・ 培地、バッファーを完全除去して凍結 (RNAlater不要)



バックアップ込みで3本ずつ

サンプルの送付方法

サンプルは、下記の表に示した十分量のドライアイスと同梱した上で、冷凍便にて下記住所までご送付ください。その際、印刷したサンプルフォームを同梱してください。

・ドライアイスの目安

輸送時間	ドライアイス量
30時間以内	3~4 Kg
2日	6~7 Kg
3日~5日	8~10 Kg

輸送事故防止およびサンプル受け取り準備のため、サンプル発送前に発送/到着予定日を必ずご連絡ください。配達指定は営業日中の午前10時から午後18時到着の間でご指定ください。また、サンプル発送後、メールにて到着予定日・運送会社名・追跡番号をお知らせください。

<サンプル送付先>

〒101 - 0032

東京都千代田区神田三崎町2-2-14 BRICK GATE 水道橋 2F

株式会社Rhelixa 研究開発部 宛て

TEL: 03 - 6240 - 9330

サンプル受付時間: 平日10時~18時

- サンプルは必ず十分冷凍したものをお送りください。
- 貴重なサンプルは予め分取してお手元に残していただくようお願いいたします。
- サンプル分注後、サンプルチューブの蓋をきちんと閉め、パラフィルムで保護してください。低吸着チューブを推奨いたします。
- サンプルの取り違えを防ぐため、わかりやすい15文字以内のサンプル名としてください。また、サンプルフォームとチューブの名称を一致させてください。
- 輸送中のサンプルチューブの破損を防止するため、チューブボックスにサンプルチューブを入れ、ドライアイスと直接触れ合うことのないようにしてください。緩衝材でチューブを包むだけですとヒビや割れの原因となります。目視では確認できないヒビも遠心等の際に割れる原因となりますのでご注意ください。
- 誠に勝手ながら、土日祝日のお受け取りはいたしかねます。また、輸送時間が長くなることを避けるため、金曜日・祝前日の発送はご遠慮いただいております。
- 恐れ入りますが、輸送運賃はお客様でご負担いただきますようよろしくお願い致します。

注意事項

1. サンプルの品質管理には万全を期しておりますが、抽出後のクオリティー、濃度、総量を保証するものではありません。弊社到着前のサンプルの状態や性質が原因であることも考えられますので、予めご了承ください。
2. 輸送時のトラブルに関して、弊社はその責任を負いかねます。
3. 受注後、実作業に入ってからキャンセルはサービスの仕様上お受け致しかねます。やむを得ない場合は実作業分の料金をご請求させていただきます。
4. お預かりしたサンプルは、納品検収後、3ヶ月を目処にお客様の事前承諾なしに廃棄させて頂いております。また、原則として検体のご返却は対応いたしかねますが、ご希望の場合は事前にお問合せください。
5. 「国立感染症研究所病原体等安全管理規程」に準じて、ヒトに対する病原性がバイオセーフティーレベル2以上、または2以上を疑われるサンプルの受付に関しては必ずお問い合わせ下さいますようお願いしております。
* <http://www0.nih.go.jp/niid/Biosafety/kanrikitei3/>
6. 本受託サービスは、すべて研究目的のために使われることを前提として実施しております。本受託サービスの解析結果を研究目的以外へご使用された場合、これに起因する損失・損害等については、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

以上